

令和5年度第2回大分県域観光マーケティング会議

【観光カルテ及びマーケティング情報の共有について】

おんせん県おおいた観光カルテ 大分県全域



日本一のおんせん県おおいた  味力も満載

2024.3.12(火)

ツーリズムおおいた 観光企画部

アジェンダ

01 宿泊旅行の実態

02 国内来訪者の実態

03 大分県観光に関する興味関心調査

04 国内客の周遊状況

05 訪日来訪者の実態

01 宿泊旅行の実態

利用データ（出典元）

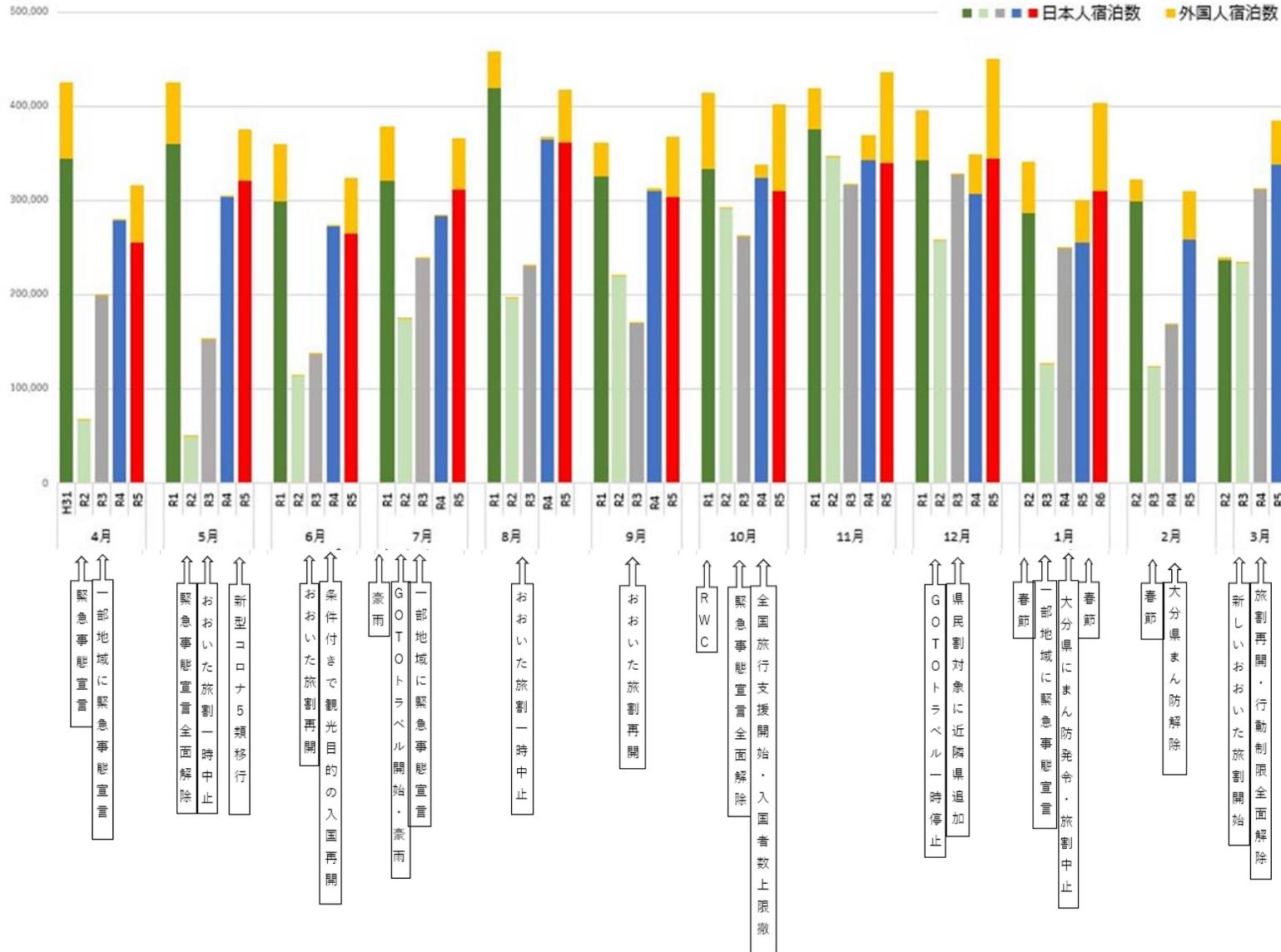
<大分県観光統計調査>

大分県が従業員数10人以上の県内の宿泊施設の宿泊客数を調査したもの。

（令和6年1月時点 189施設）

01 宿泊旅行の実態

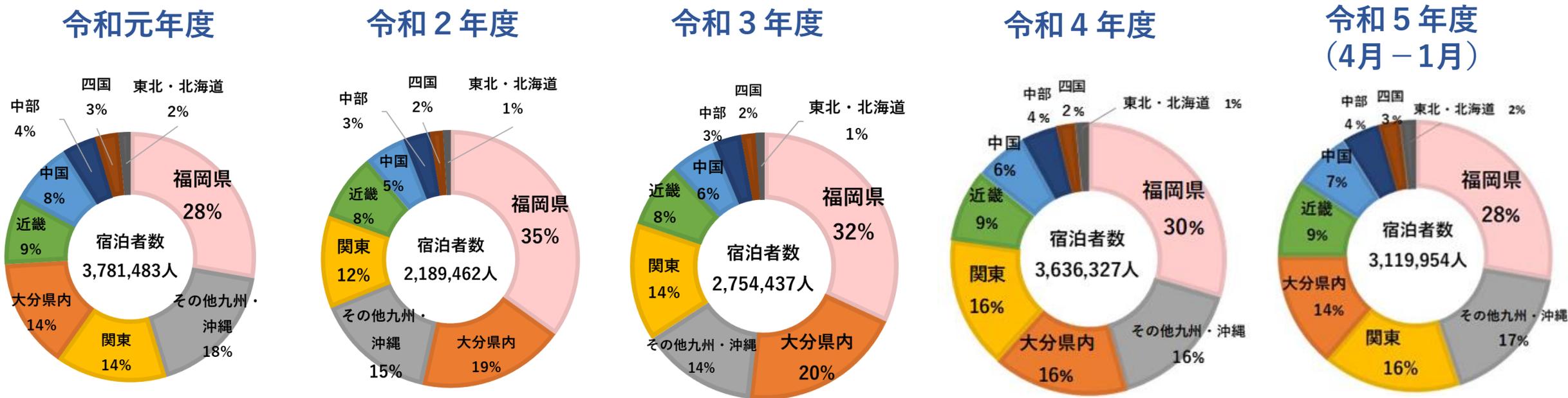
(1) 令和元年度・令和2年度・令和3年度・令和4年度・令和5年度 延べ宿泊者数推移



- 国内客は、R4年3月以降は全国的に新型コロナウイルスによる行動制限もなく順調に回復しているものの、コロナ禍前の水準からは微減の状態が続いている。
- 国外客は、R4年10月に水際対策が大幅に緩和されてからは急速に回復しており、直近のR5年8月以降はコロナ禍前の令和元年同月比を上回る状態が続いている。

01 宿泊旅行の実態

(2) 令和元年度・令和2年度・令和3年度・令和4年度・令和5年度（4月-1月） 国内発地別宿泊者数割合

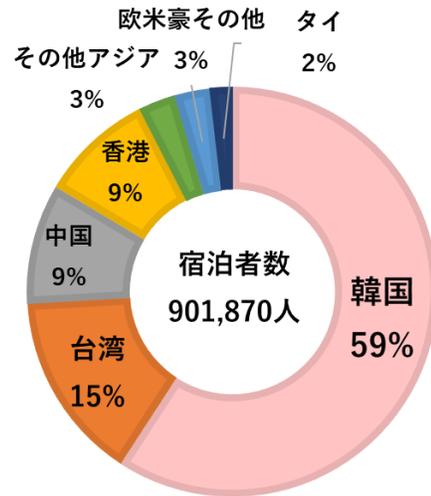


- 国内の宿泊者の来訪元としては、令和5年度は福岡県が28%を占めている。
- 令和2年度、令和3年度、令和4年度のコロナ禍においては福岡県の割合が更に増えており、大分県を含む九州圏内からの宿泊者が6割を超えていたが、令和5年度に入り九州外からの宿泊者の割合が増加している。

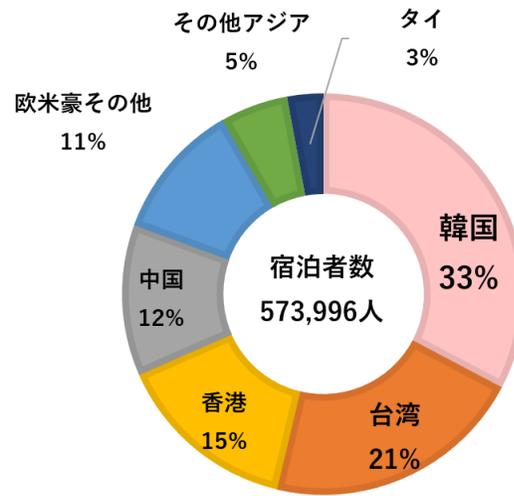
01 宿泊旅行の実態

(3)平成30年度・令和元年度・令和4年度・令和5年度（4月-1月） 海外発地別宿泊者数割合

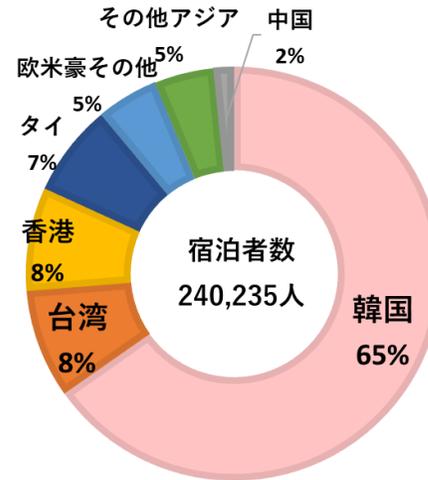
平成30年度



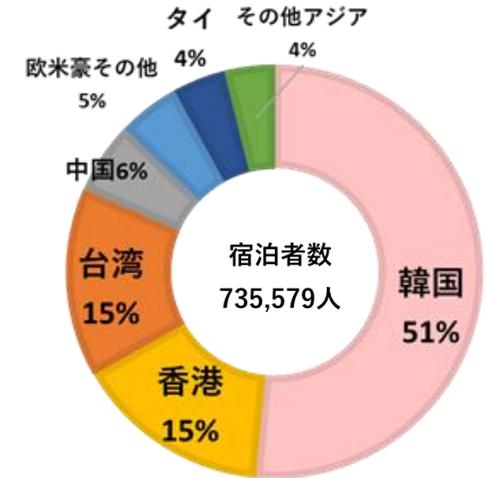
令和元年度



令和4年度



令和5年度
(4月-1月)



- 海外の宿泊者の来訪元としては、令和5年度に入り各国からの宿泊者数も順調に回復しており、令和5年度（4月-1月）は韓国・香港・台湾からの宿泊者で約8割を占めている。
- 中国からの宿泊者はまだ戻りきっておらず、令和5年1月時点でコロナ禍前の令和元年同月比約65%にとどまる。

01 宿泊旅行の実態

(参考)平成30年度（4月-1月）と令和5年度（4月-1月）の宿泊者数の比較

	平成30年度 (4月-1月)	令和5年度 (4月-1月)	平成30年度比
大分県内	524,497	430,608	82.1%
福岡県	877,755	868,628	99.0%
その他九州・沖縄	570,077	528,556	92.7%
四国	97,298	78,832	81.0%
中国	236,817	214,708	90.7%
近畿	243,065	290,005	119.3%
中部	117,022	138,273	118.2%
関東	442,428	512,140	115.8%
東北・北海道	41,640	58,204	139.8%
国内小計	3,150,599	3,119,954	99.0%
韓国	418,499	378,550	90.5%
中国	68,851	41,445	60.2%
香港	68,339	112,690	164.9%
台湾	106,689	108,661	101.8%
タイ	12,699	30,483	240.0%
その他アジア	21,669	28,386	131.0%
欧米豪その他	21,189	35,364	166.9%
海外小計	717,935	735,579	102.5%
合計	3,868,534	3,855,533	99.7%

● 国内宿泊客は、全体としては平成30年度と比較すると99%となっている。近畿、中部、関東や東北・北海道など近畿以东は平成30年度と比較しても増加している。

● 国外宿泊客は、平成30年度比102.5%と増加している。中国は6割、韓国は9割とまだ戻りきっていないものの、タイや香港、欧米豪などはコロナ禍前よりも大幅に増加している。

● 国内・国外客合わせても、1月時点では平成30年度比99.7%とほぼ同水準まで回復している。

02 国内来訪者の実態

利用データ（出典元）

<ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT Place>

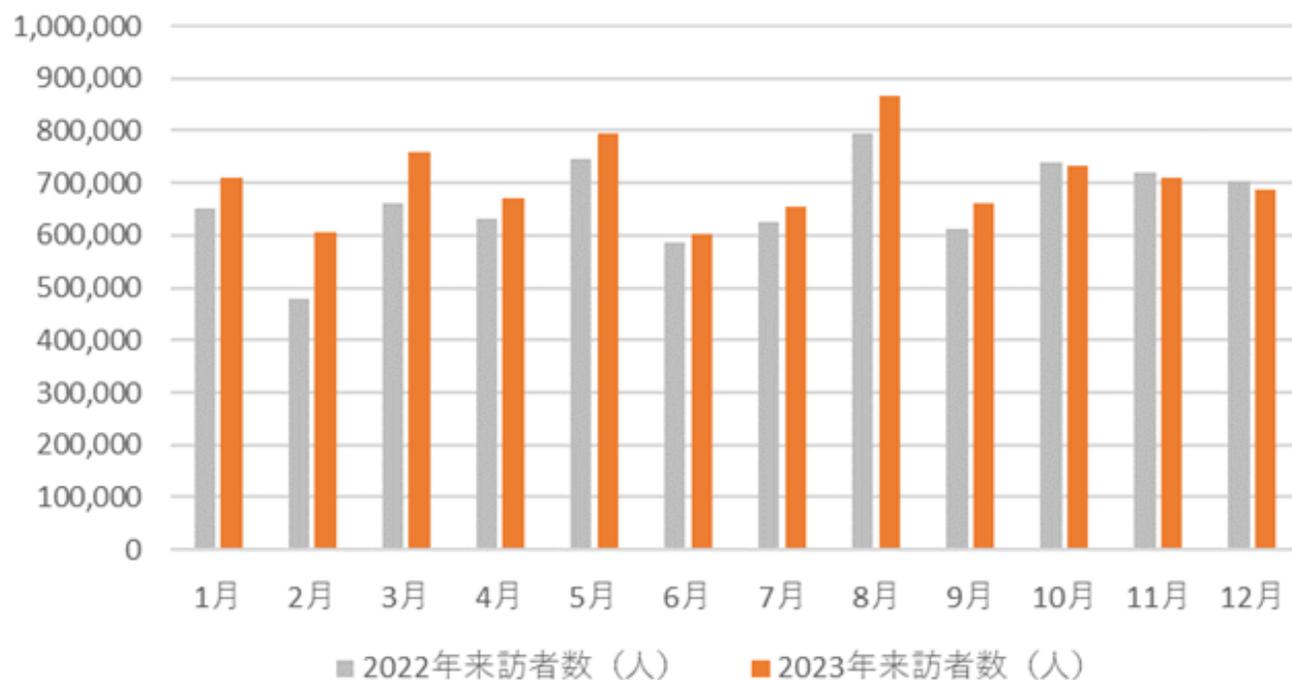
DS.INSIGHT は、Yahoo! JAPANが提供するアプリで位置情報の利用を許可しているデータをもとに、プライバシーに配慮して統計化して推計を行う。推計は、ヤフーサービスの利用者の偏りやユーザ数と人口の比率などを考慮して、ヤフー独自に推計した値となる。

- ※令和5年1月～12月の大分県外から大分県へ来訪した人のデータ
- ※大分県在住者は含まない。
- ※日帰り客、宿泊客を含む。
- ※国内在住者に限る。

02 国内来訪者の実態

(1) 大分県国内来訪者数（日帰り・宿泊客含む）

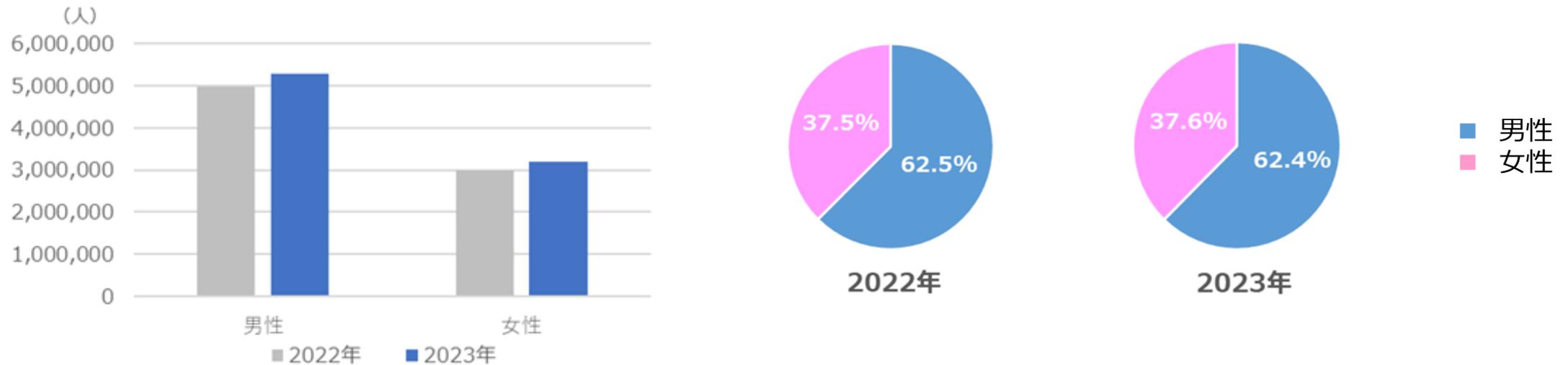
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2023年来訪者数（人）	710,800	607,700	760,100	670,700	796,200	601,900	654,000	865,700	661,500	733,100	711,500	687,000	8,460,200
2022年来訪者数（人）	653,400	477,900	661,200	631,400	746,800	585,500	625,200	793,800	614,100	740,000	719,300	705,200	7,953,800
前年比（%）	108.8%	127.2%	115.0%	106.2%	106.6%	102.8%	104.6%	109.1%	107.7%	99.1%	98.9%	97.4%	106.4%



- 大分県への来訪者数は10月、11月、12月は前年比微減しているものの、全体的には前年比106.4%と増加している。
- 年間を通してみると、特に3月や5月、8月に来訪者が増える傾向にある。

02 国内来訪者の実態

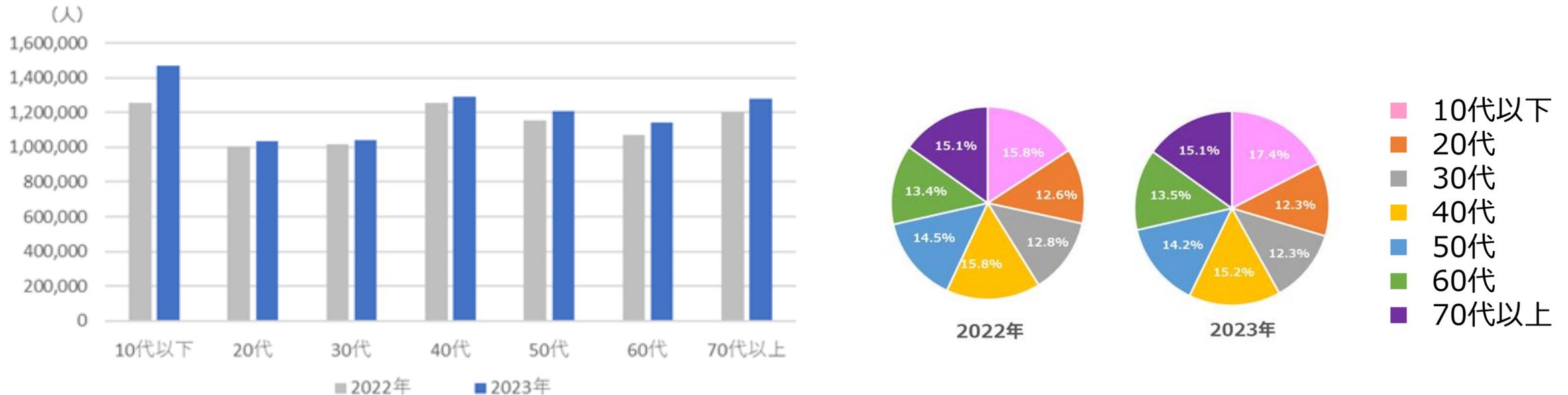
(2) 大分県国内来訪者の性別（日帰り・宿泊客含む）



- 大分県来訪者の性別は、前年と比較しても大きな差は見られず、男性が約6割、女性が約4割を占めている。日帰りも含むビジネス客なども含まれることが影響していると考えられる。

02 国内来訪者の実態

(3) 大分県国内来訪者の年代（日帰り・宿泊客含む）



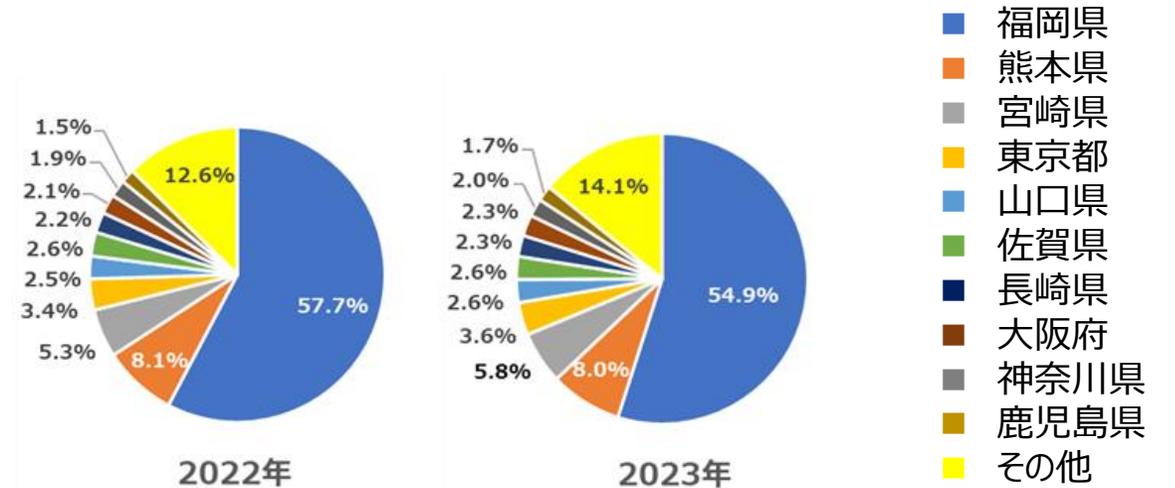
- 来訪者の年代をみると、特に10代以下の来訪者が前年と比較しても大きく増加している。コロナ禍でできなかった教育旅行やスポーツ合宿、交流試合などが復活したことなども要因の一つだと考えられるとともに、子供連れの旅行なども感染症の懸念が減ったことにより増加したと考えられる。

02 国内来訪者の実態

(4) 大分県国内来訪者の居住地（日帰り・宿泊客含む）

2023年1月－12月都道府県別来訪者数

	来訪元	前年来訪者数	来訪者数	前年比
1	福岡県	4,553,920	4,615,540	101.4%
2	熊本県	639,670	671,470	105.0%
3	宮崎県	418,430	489,370	117.0%
4	東京都	268,520	305,350	113.7%
5	山口県	197,080	215,120	109.2%
6	佐賀県	205,670	215,080	104.6%
7	長崎県	175,930	196,820	111.9%
8	大阪府	168,810	196,760	116.6%
9	神奈川県	146,860	165,430	112.6%
10	鹿児島県	121,200	145,100	119.7%



● 来訪者の居住地は、半数以上が福岡となっている。前年比をみると全体的に増加しているものの、特に近隣県の宮崎・鹿児島及び都市部の東京・大阪などからの伸びが大きい。

03 大分県観光に関する興味関心調査（日本人対象）

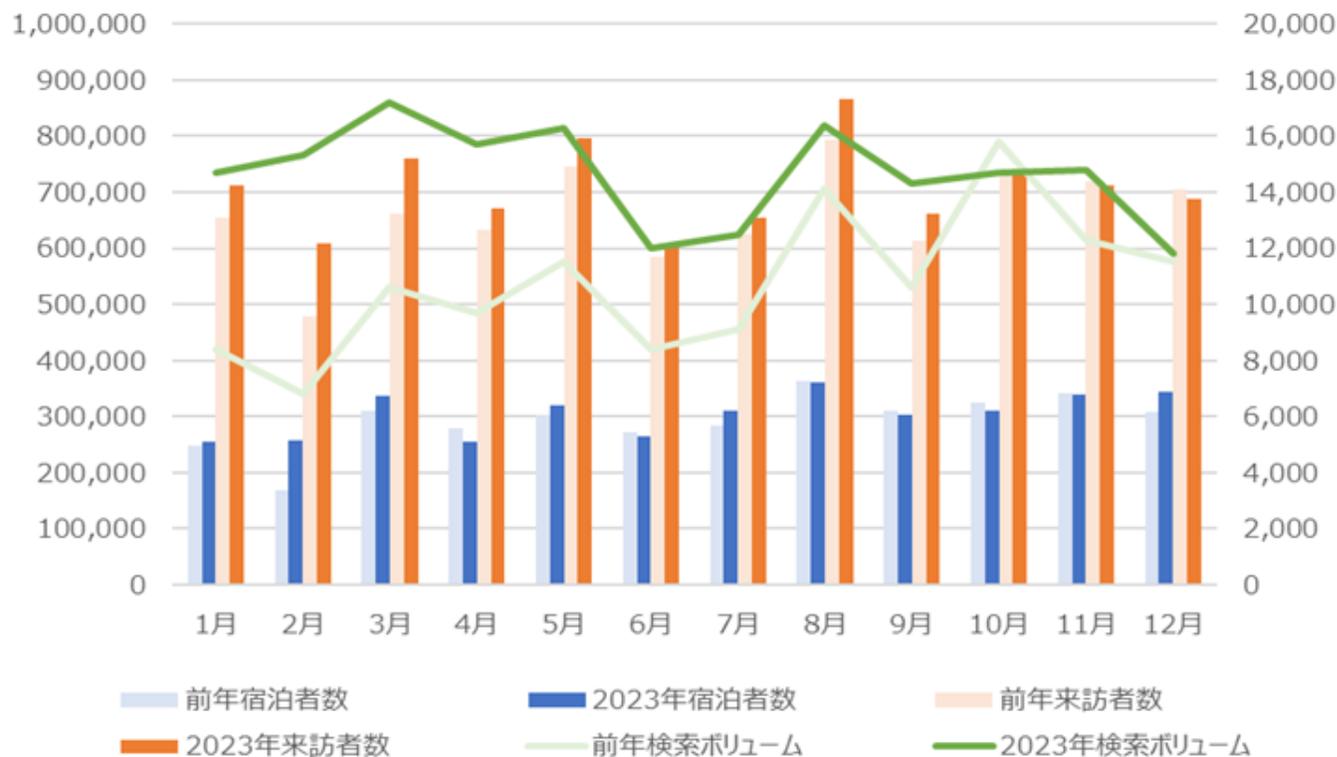
利用データ（出典元）

<ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT People>

Yahoo! JAPANで検索したユーザーを標本に、総務省・通信利用動向調査のデータなどを用いて拡大推計するとともに、Yahoo! JAPANデータの偏りを補正して、日本のインターネット利用者の推定検索人数を算出したもの。

03 大分県観光に関する興味関心調査

(1) 「大分 観光」検索ボリューム及び来訪者数（国内客）、宿泊者数の推移

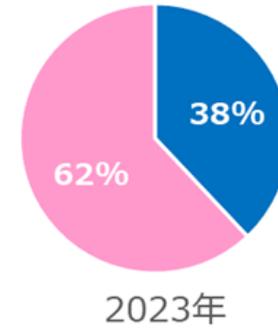
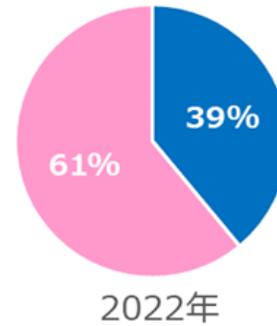
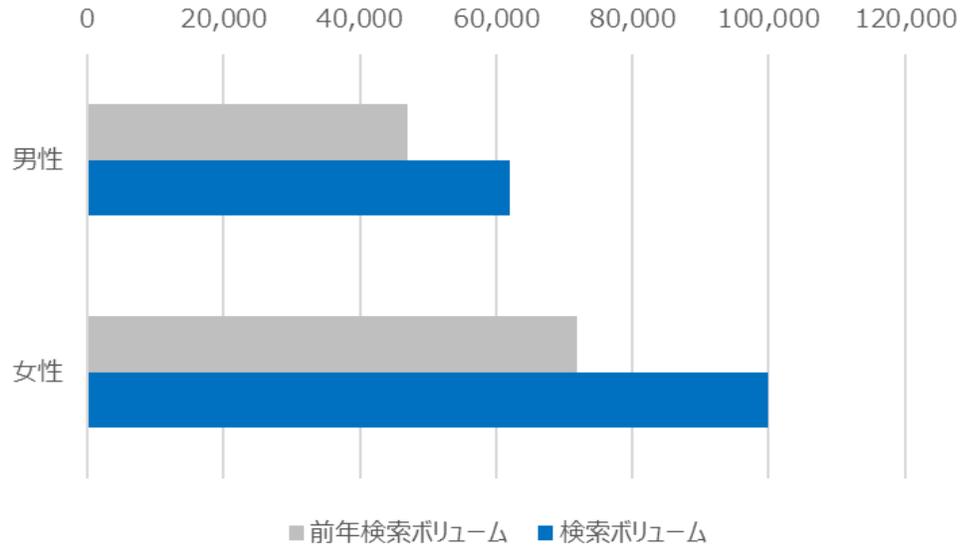


合計検索ボリューム
2022年：119,000
2023年：161,000
前年比：136%

- 「大分 観光」検索ボリュームは前年と比べ3割程増加している。
- 月別推移は、大分県への来訪者数、宿泊者数と一定の相関関係があり、検索者が増加する月は来訪者、宿泊者も増加していることから、旅の直前や旅ナカで情報を検索する人が多いと推測できる。

03 大分県観光に関する興味関心調査

(2) 「大分 観光」検索者の性別（令和5年1月－令和5年12月）

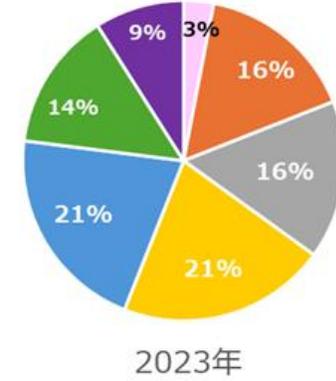
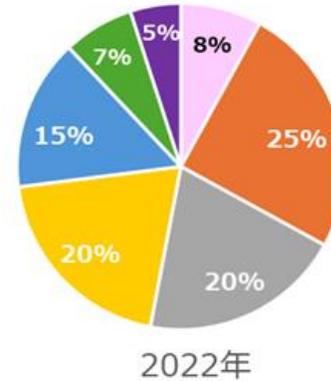
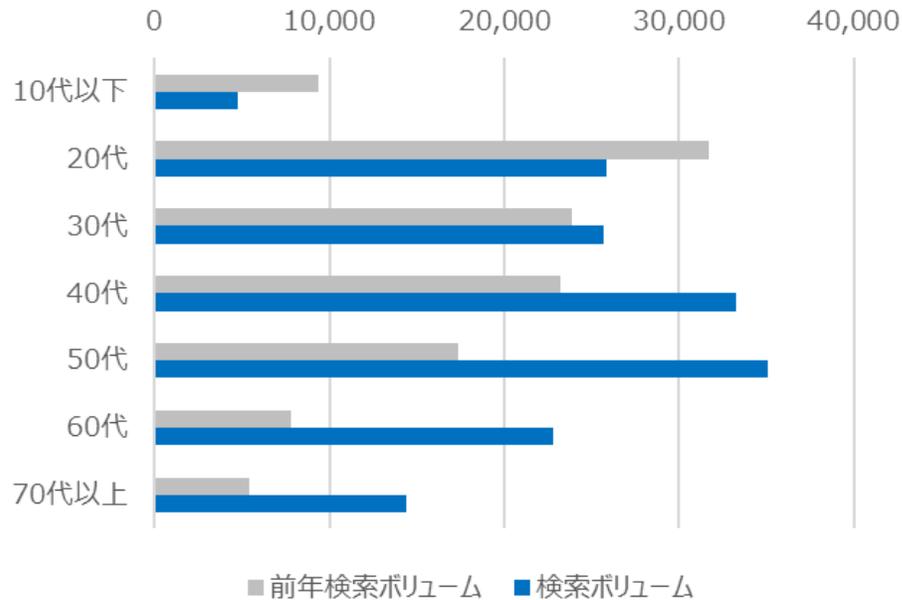


■ 男性
■ 女性

●「大分 観光」を検索する人は女性約6割、男性約4割と国内来訪者の割合と逆転しており、大分旅行に関するWeb上での情報発信は比較的女性の方が響きやすいと考えられる。

03 大分県観光に関する興味関心調査

(3) 「大分 観光」検索者の年代（令和5年1月－令和5年12月）

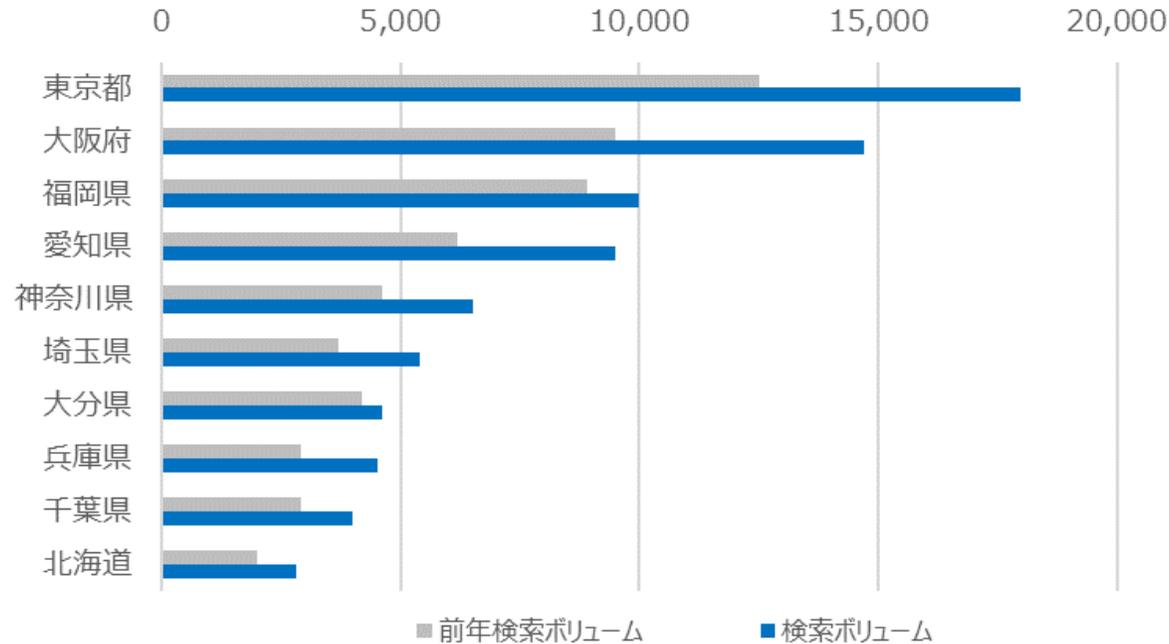


- 10代以下
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

●「大分 観光」を検索する人は、前年と比べ特に30代以上のファミリー層や中・高齢層の増加率が高くなっている。一方10代以下や20代の検索ボリュームは減少している。
アフターコロナで高齢層の旅行意欲が増加したことや、10代以下の若年層はWeb検索よりもSNSなどからの情報入手が主流になりつつあることが推測される。

03 大分県観光に関する興味関心調査

(4) 「大分 観光」都道府県別検索ボリューム（令和5年1月 – 令和5年12月）

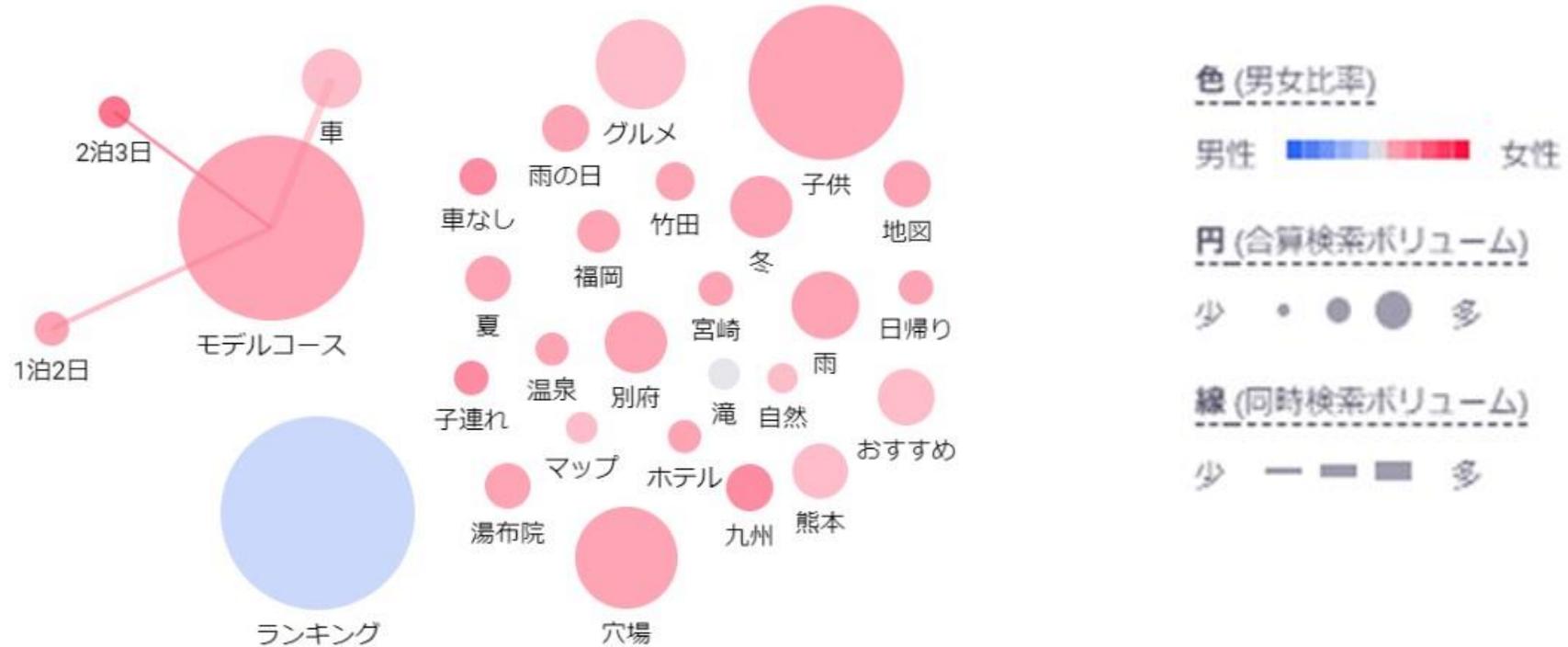


	都道府県	前年検索ボリューム	検索ボリューム	前年比
1	東京都	12,500	18,000	144.0%
2	大阪府	9,500	14,700	154.7%
3	福岡県	8,900	10,000	112.4%
4	愛知県	6,200	9,500	153.2%
5	神奈川県	4,600	6,500	141.3%
6	埼玉県	3,700	5,400	145.9%
7	大分県	4,200	4,600	109.5%
8	兵庫県	2,900	4,500	155.2%
9	千葉県	2,900	4,000	137.9%
10	北海道	2,000	2,800	140.0%

- 都道府県別にみると、東京、大阪、愛知、兵庫など都市部での検索が大きく伸びている。来訪の伸びも大きかった都市部からの関心が高まっていると考えられる。

03 大分県観光に関する興味関心調査

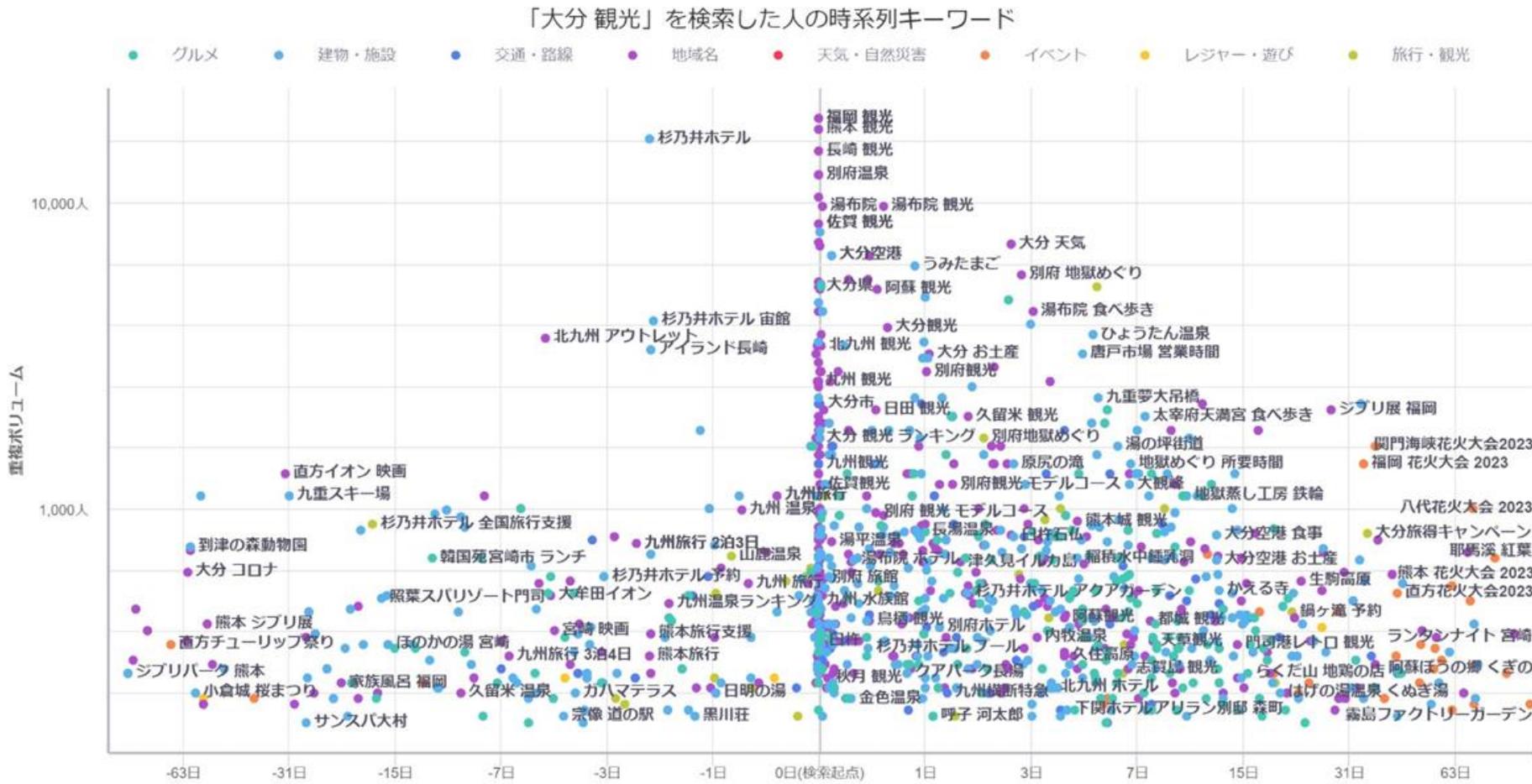
(5) 「大分 観光」と一緒に検索されたキーワード（令和5年1月－令和5年12月）



- 「大分 観光」を検索する人は、女性では一緒に「モデルコース」や「子供」、「穴場」などを調べる人が多い。一方男性では一緒に「ランキング」を調べる人が多い。
- 車での1泊2日、2泊3日のモデルコースや「子連れ」、「雨の日」など具体的な旅を想定した検索も多い。
- 大分県の旅行検討者のニーズを汲み取り、必要な情報をしっかり届けることが重要ではないか。

03 大分県観光に関する興味関心調査

(6) 「大分 観光」を検索した人の時系列キーワード (令和5年1月 - 令和5年12月)



「大分 観光」を検索した日を起点として、平均すると前後何日に検索するかを表示したもの。

●「大分 観光」を検索する人は、同時に「福岡観光」や「熊本 観光」など九州他県の情報を検索する人が多く、九州旅行を検討する中で大分県の競合県として福岡や熊本を設定するケースが多いと考えられる。

「大分 観光」の検索ボリューム：161,000

【抽出条件】
 期間：2023-01-01～2023-12-31 / 検索ボリューム：1,000～100,000,000 / 重復ボリューム：10～10,000,000 / 関連度：1.3～10 / 検索時間差：-360～360
 ※関連度上位最大1000件までを表示

04 国内客の周遊状況

利用データ（出典元）

<Datwise Area Marketer>

株式会社NTTドコモがdポイントクラブアプリ会員同意のもとで取得したdポイントクラブアプリの位置情報と属性データ（性、年代に関する会員情報）と国税庁等の統計データをかけ合わせて、来訪者を算出したもの。

（1）県内各観光スポット併用割合（令和5年GW期間中の併用割合）

各観光スポット（横軸）に訪れた人を100%として、2023年4月29日～2023年5月7日の間に縦軸のスポットを併用した人の割合を表示。

- 県内各観光スポットの併用割合としては、近隣エリア内での周遊や大分市、別府市との周遊は比較的どのエリアでも多いものの、離れているエリアではあまり併用が見られないスポットも多い。
- 一方、離れているエリアでもファミリー向けレジャー施設や歴史文化を体験するスポットなど、同じような趣向のスポットで併用が見られるところもある。
- スポットによっては大分空港だけではなく福岡空港や熊本空港、宮崎空港との併用が多いスポットもある。県内のみならず、九州旅行での訪問先として選んでもらえるよう、スポットによっては他県との連携やプロモーション方法などを検討するのも効果的だと考えられる。

05 訪日来訪者の実態

利用データ（出典元）

<KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」>

調査に用いたデータはNAVITIMEの位置情報ビッグデータ。

（ジャパントイム ユーザーのうち、個別同意を得たユーザが対象、かつ個人を特定できない処理を行って集計された情報）

国内在住の外国人および長期滞在の外国人観光客のデータは含まれない。

※令和5年1月～12月の大分県へ来訪した訪日外国人のデータ

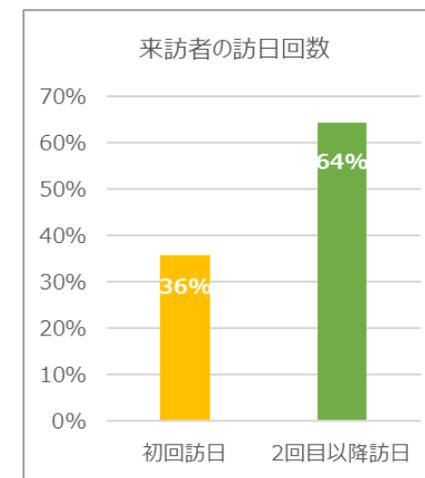
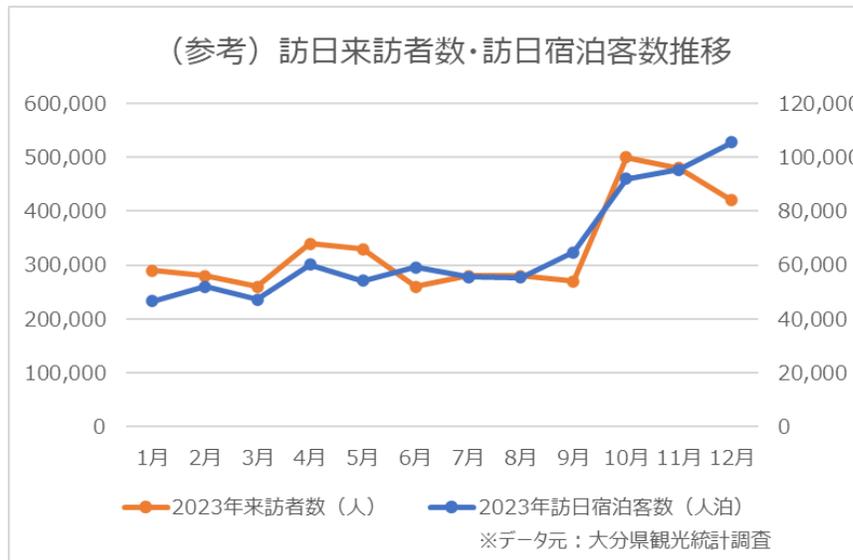
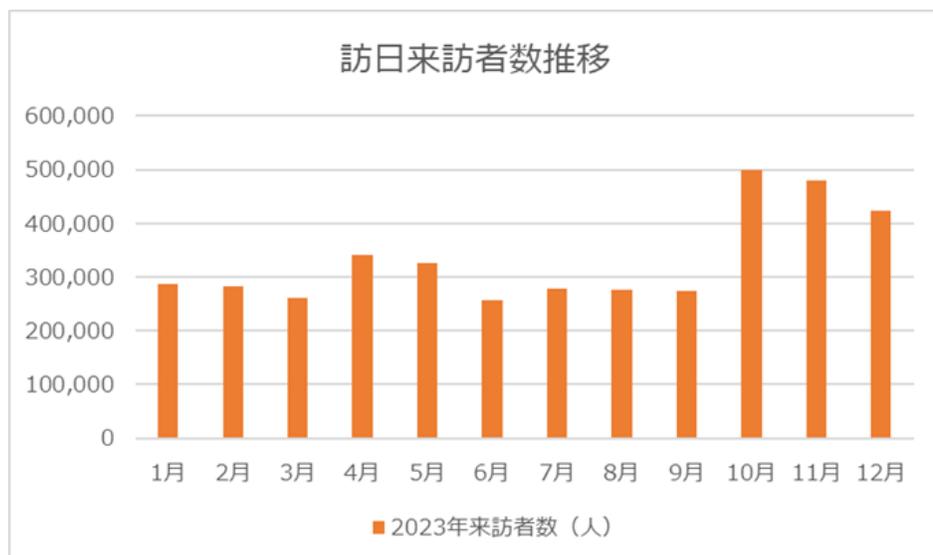
※日本在住外国人は含まない。

※日帰り客、宿泊客を含む。

05 訪日来訪者の実態

(1) 大分県への訪日客の動向（日帰り・宿泊客含む）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
2023年来訪者数（人）	290,000	280,000	260,000	340,000	330,000	260,000	280,000	280,000	270,000	500,000	480,000	420,000	3,990,000



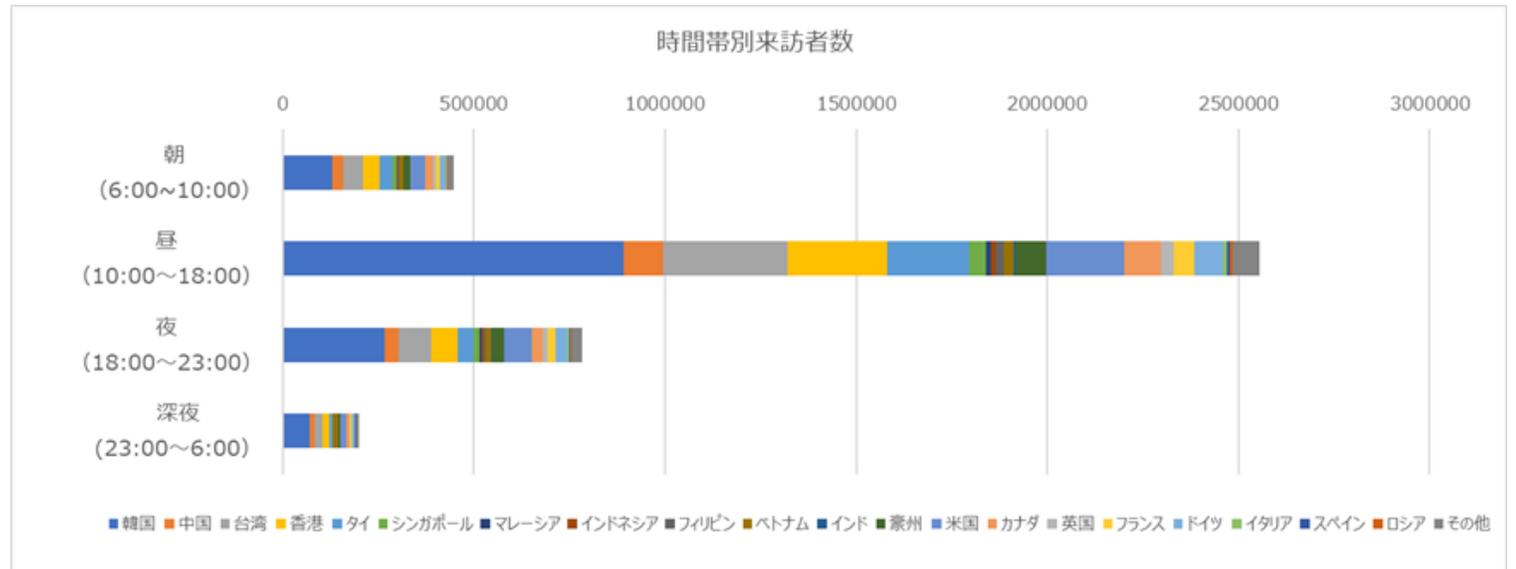
- 日帰り客を含む訪日旅行者数は、2023年10月以降一気に増加している。
- 大分県の訪日来訪者は訪日2回目以降の訪日リピーターが約6割を占めている。

05 訪日来訪者の実態（日帰り客・宿泊客含む）

（1）大分県への訪日客の動向（日帰り・宿泊客含む）

訪日来訪客の国籍割合（令和5年1月～令和5年12月）

	国籍	割合		国籍	割合
1	韓国	34%	12	ベトナム	2%
2	台湾	12%	13	英国	1%
3	香港	10%	14	フィリピン	1%
4	米国	8%	15	インドネシア	1%
5	タイ	8%	16	マレーシア	1%
6	中国	5%	17	イタリア	0%
7	カナダ	4%	18	スペイン	0%
8	豪州	3%	19	ロシア	0%
9	ドイツ	3%	20	インド	0%
10	フランス	2%		その他	3%
11	シンガポール	2%			

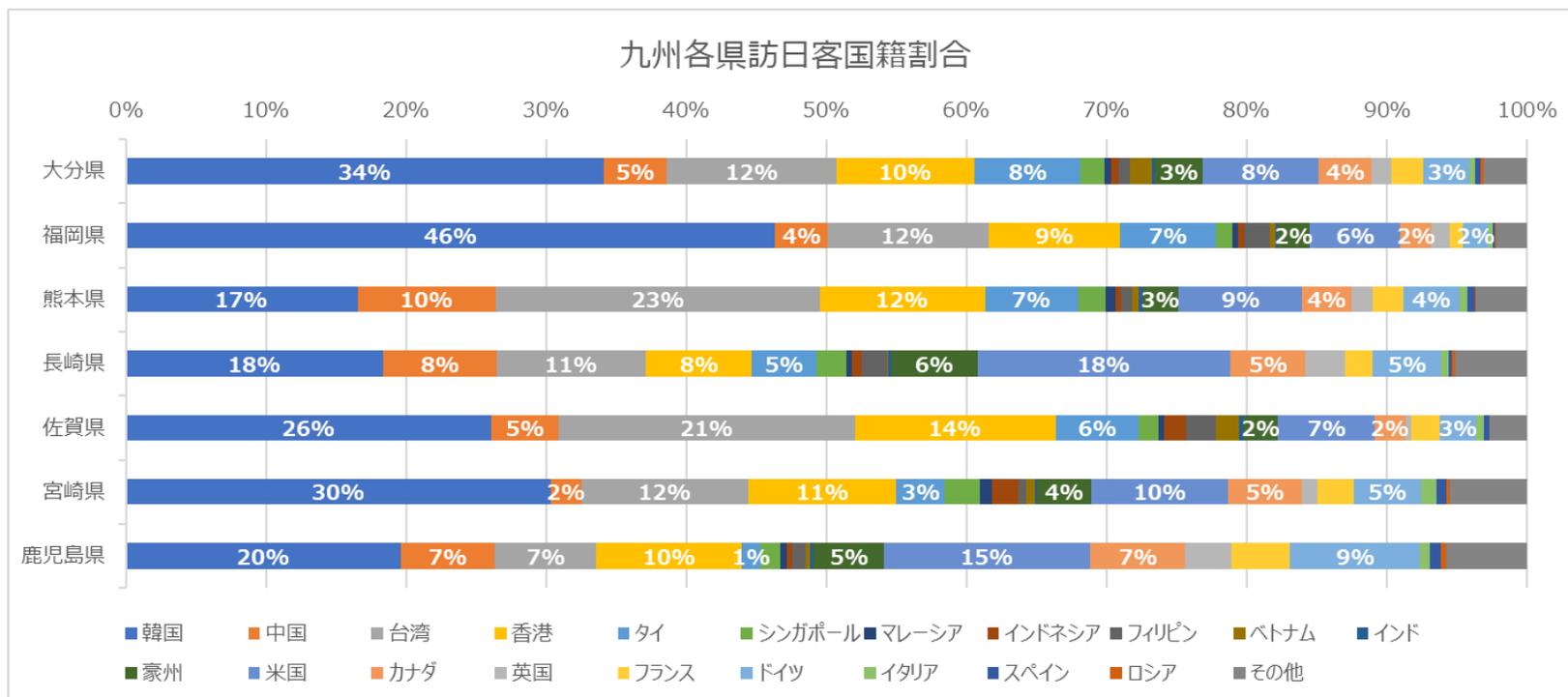


- 日帰り客を含む訪日客の来訪元は、宿泊者と同様韓国、台湾、香港が上位を占めている他、米国からの来訪も多い。
- 時間帯別の来訪者数を見ると宿泊を伴わない昼間のみでの滞在も多い。訪日客に宿泊を促す施策や滞在時間を延ばしてもらう訴求により、更なる消費拡大につながるのではないかと。

05 訪日来訪者の実態

(2) 九州各県への訪日客の動向（令和5年1月－令和5年12月）

	大分県	福岡県	熊本県	長崎県	佐賀県	宮崎県	鹿児島県
2023年来訪者数（人）	3,980,000	28,140,000	3,650,000	3,170,000	820,000	510,000	2,000,000



●九州各県の訪日客と比較してみると、大分県は福岡県に次いで来訪者数が多い。
各県の来訪元割合をみると、直行便が就航している国からの割合がやはり多くなっている。九州からの直行便がない米国からの来訪割合は長崎県、鹿児島県が特に多くなっている。



日本一のおんせん県おおいた  みりよく 味力も満載